

# 常陽会の介護憲章

「介護のこころは

敬愛と感謝。」

人は高齢になれば、だれでも体が衰えます。それは、その人が長い間この社会のために働いてこられたから、心身を使つてこられたからです。

しかし、ひとたび倒れて、ご自分のことがご自分でできなくなったら、こんどは、社会のみんながお手伝いをお願いします。私たちは介護という仕事に喜びを感じています。体の不自由なお年寄りのお世話をすることを天職と思っています。

人生の大先輩であり、こんなにも豊かな国をつくつてくださったお年寄りの皆様に対して、敬愛をもつて、私たちがこの社会に働いていられることに感謝しながら、精一杯お世話させていただきます。